

\*\*\*\*\*

**地盤工学会中部支部60周年記念事業**  
**「平成29年度 第1回イブニングセミナー」開催のご案内**  
**主催：公益社団法人 地盤工学会中部支部**

地盤工学会中部支部では地盤工学の学び直しやその周辺のことを知ることで、地盤工学の重要性や役割の再発見のために講演会・講習会を開催しています。今回は、河川堤防をテーマに、(国立研究開発法人)土木研究所 主任研究員 石原雅規氏を講師に迎え、「質の高い河川堤防とは ～最近の被災事例や、浸透及び耐震対策に係るマニュアル等を作りながら考えたこと～」と題した講演会を下記の要領で行います。奮ってご参加下さい。

**G-CPD ポイント数：2.0**

**日 時：**平成29年10月12日(木)、18:30～20:30

**場 所：**名古屋工業大学(講義室は、2号館1階0211教室)

**交通アクセス：**<http://www.nitech.ac.jp/access/>

**キャンパスマップ：**<http://www.nitech.ac.jp/access/campusmap.html>

**会 費：**地盤工学会の個人会員・特別法人会員 500円、学生会員 300円、非会員 1,000円

**講演題目：**「質の高い河川堤防とは ～最近の被災事例や、浸透及び耐震対策に係るマニュアル等を作りながら考えたこと～」

**講 師：**石原 雅規 氏 ((国研)土木研究所)

**講演概要：**

河川堤防に対して、浸透対策や耐震対策が実施される場合がある。これらの対策は、質の高い河川堤防を目指しての対策であることは間違いない。しかし、肝心の河川堤防に必要な「質」については、曖昧な部分が残されている。その一方で、対策工の設計法で用いられる計算法等にも限界があり、機械的に設計するだけでは質の高い河川堤防とは程遠い対策となってしまう場合もある。したがって、曖昧な部分があったとしても、河川堤防に係る各人が、質の高い河川堤防を目指し、また、計算法等が万能でないことを理解した上で、議論しながら、少しでも良いものとして行くことが重要であると考えている。最近の被災調査や、模型実験、浸透及び耐震対策に係るマニュアルの作成の過程で考えたことなどを紹介する。

**申込み方法：**参加ご希望の方は、①氏名 ②所属 ③連絡先 ④会員・特別法人会員・非会員の別を下記までメールまたはFAXにてお知らせください。(参加費は当日お支払ください。)

**申 込 み 先：**地盤工学会中部支部

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目9番26号ポーラビル8F

電話：052-222-3747 FAX：052-222-3773 E-mail：[jibanchu@jeans.ocn.ne.jp](mailto:jibanchu@jeans.ocn.ne.jp)

\*\*\*\*\*